



荒鬼とタイレンが輪を作って参拝客を囲み、松明で頭や肩をたたいて加持し、この1年間の五穀豊穡、無病息災、家内安全を祈りました

国東町

### 修正鬼会 成仏寺

仏の里に春の訪れを告げる「修正鬼会」(国指定重要無形民俗文化財)が2月10日(日)に成仏寺で行われました。

修正鬼会は、国東半島の六郷満山寺院(天台宗)で旧正月の初めに行われる一大行事で、成仏寺(旧暦1月5日)と岩戸寺(旧暦1月7日)で隔年交代で行われています。

午後10時半過ぎに仏の化身とされる「災払鬼」「荒鬼」「鎮鬼」が登場。参拝客を囲み、頭や肩をたたいて加持し五穀豊穡などを祈願。その後、鬼は寺を飛び出して地区内の家庭を回り加持祈禱を行いました。



国東町

### オレンジ保育園児と 老人クラブが餅つきで交流

2月8日(金)、オレンジ保育所の園児が、地元の原老人クラブ(見初総会長)の皆さんと餅つきを行いました。この餅つきは、同クラブの地域ふれあい事業の一環として毎年旧正月前後に行われています。

園児たちは、「ヨイショ!ヨイショ!」と太鼓にあわせて千本杵を使って餅をつき、おばあちゃんと一緒にあんこを包んだり丸めたりしました。

餅つきの後は、皆で歌を歌ったり、つきたての餅をおいちゃんおばあちゃんと一緒に食べながら楽しく交流しました。



香水棒を打ち合わせながら舞う鬼たち

武蔵町

### 丸小野子ども修正鬼会

2月10日(日)、午後6時から丸小野で伝統行事「丸小野子ども修正鬼会」が行われました。この行事は、子どもの無病息災を祈願し、江戸時代末期の天保年間(1830~1844年)が起源と伝えられています。起源伝承にも登場した仲西・柿園両地区が輪番で座元を受け持っています。

今年の座元は長広信二さん宅で、近くの武蔵川で「垢離(こうり)取り」をして身を清めた地元の麻生怜生君、長広徹也君、野田健太さん、今本康記さんの4人が僧侶立会いのもと古式ゆかしく「盃の儀」を行いました。その後、地元の皆さんにより2本の大松明に火がつけられ、丸小野寺と反対側の稲荷権現へ担ぎあげられました。

住職の読経、餅撒きが終わると、鬼たちが香水棒を持ち舞い踊り、最後には鬼が見物客の足元に小松明を近づけて火の粉をかけ、無病息災を祈願しました。